



## 病院長挨拶

### 昨年度を振り返り、今年度に向けて

富山市民病院 院長 家城 恭彦



院長になってからの1年は、思えばあっという間でした。コロナ禍で受けたダメージを払拭するため経営改善の第一歩として、「断らない救急」を合言葉に地域医療への貢献に努めました。ところが、その結果高齢救急患者の入院が増加したため、在院日数が延長してしまいました。在院日数の短縮を求める令和6年度の診療報酬改定に対応すべく、地域の病院を訪問して後方連携の強化を図らせていただきました。おかげさまで、連携施設のご協力と退院支援に関わる多職種の頑張り、なんとか在院日数も短縮することができました。

そのような中、喜ばしいニュースもありました。まずは、コロナ禍で休棟を余儀なくされた「緩和ケア病棟」が、昨年10月に再開されたことです。がん患者さんの終末期を支えるこの病棟の再開は、富山県がん診療地域連携拠点病院である本院にとっても非常に意義深いことでした。また、年明け早々には「脳死下臓器提供」が行われ、全国で移植臓器を待つ5人の患者さんに届けられました。

その1ヶ月後にももう1例の臓器提供が行われ、移植医療においても当院の貢献が光りました。

このような昨年度を受けて今年度は、「断らない救急」を引き続き堅持しながら、予定入院・手術の患者さんを増やしていきたいと考えています。今年度には「手術支援ロボット」が導入予定であり、現在プロジェクトチームが鋭意準備を進めていますので、ご希望の患者さんがおられましたらどんどんご紹介ください。また、内科においては医師の増員があり、ますますパワーアップしましたので、検査が必要な症例や診断にお困りの症例など、どうぞお気軽にご紹介ください。いつでもお断りなくお受けして、当院での診療が済み次第お返しし、以後も貴院との「2人主治医制」で責任を持って関わらせていただきます。これからも「地域からの求めに応えられる病院」でありたいと思っていますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

# 研修・講演・学習会のご案内

## 1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日時：5月13日（火） 19：00～20：00 場所：当院3階 講堂

### 1）症例検討

『頭痛と複視で発症した脳動脈瘤の1例からの考察』

脳神経外科 毛利 正直

### 2）ミニレクチャー

『たかが便秘、されど便秘。たかが便秘に要注意！』

消化器内科 水野 秀城

超高齢社会を背景に便秘症患者が急増している。これまではQOLの病気であったが、近年では、便秘症が心血管疾患やパーキンソン病のリスク上昇に関連し、長期予後にも影響を及ぼす可能性が指摘されている。従来、便秘症治療薬は主に酸化マグネシウム製剤や刺激性下剤に限られていたが、2017年に本邦で初めて発刊された「慢性便秘症診療ガイドライン」は、刺激性下剤の濫用に警鐘を鳴らす指針が明確に打ち出され、便秘治療の重要なターニングポイントとなった。2012年以降、新たな作用機序を有する慢性便秘症治療薬が次々と登場し、治療の選択肢が広がるなかで、これらの新規便秘薬が整理された第2版として「便通異常症診療ガイドライン

2023」が2023年8月に発刊された。便秘症の原因疾患は多様であるため、様々な診療科で治療が行われているが、実臨床でどの程度活用されているかはエビデンスが少ない。そこで、2017年1月～2025年1月に当院で登録された薬物治療を施行した慢性便秘症患者1万426例を対象に、ガイドライン発刊前後における治療薬選択の変化を解析し、新規処方に占める各薬剤の割合およびガイドライン発刊前後での増加率を検討した。

また、便秘症は消化器内科医のみならず、あらゆる診療科で遭遇するcommon diseaseであり、北陸では希少な機能性消化管疾患認定医が、新規便秘薬の使い方について分かりやすく解説する。

予告

## 令和7年度 富山市民病院 地域連携の会 講演会・懇親会のご案内

先月号にもお知らせいたしました。地域連携の会の開催を下記のとおり予定しております。地域の先生方と当院の医師との意見交換を身近に行える貴重な機会として、職員一同楽しみにしております。登録医の先生方には別途ご案内いたしますが、是非お越しいただきますようよろしくお願い申し上げます。

日時：6月5日（木） 19：00～

場所：ANAクラウンプラザホテル富山

内容：①講演会（タイトル未定） 外科部長 宮下 知治

②懇親会

## 2. ダイアベティス研究会（旧：糖尿病研究会）

日時：令和7年5月15日（木） 17：30～18：45 場所：当院3階 講堂

テーマ：糖尿病栄養指導のエッセンス

講師：管理栄養士

## ふれあい地域医療センター 新任スタッフの紹介

看護師長 したかた 下方 みつえ 光枝

4月より内科外来から異動になりました下方です。地域医療に貢献できるよう、医療関係者の皆様との「顔の見える連携」を心がけていきたいと思っております。至らない点も多いと思っておりますが、よろしくお願い申し上げます。

看護師 うめむら 梅村 たえこ 多恵子

4月にまちなか診療所からふれあい地域医療センターへ異動となりました梅村多恵子です。地域の皆様と連携しながら、患者さんに寄り添った丁寧な対応を心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉士 ふかがわ 深川 はるか 遥

4月より福祉政策課から異動になりました深川遥です。地域の皆様や病院スタッフとの連携を大切にし、患者さんやご家族の安心につながる退院支援ができるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 医事課の紹介

当院の医事課は、窓口対応や診療報酬の計算と請求を行う一般的な医療事務に加え、各種統計データの作成、未収金の管理、カルテをはじめとする医療情報の管理など、幅広い業務を担当しています。

業務を行うにあたっては、目まぐるしく変化する医療保険制度や診療報酬制度をしっかりと把握する必要があります。昨年度は、紙の保険証の新規発行廃止に伴いマイナ保険証の読み取り機を増設するなど、受け入れ体制を強化しました。そのおかげで当院のマイナ保険証の利用率は上昇しましたが、紙の保険証では起こり得なかった読み取りエラー等の不具合があり、国の通知を確認しながら対応しております。

医事課は患者さんにとって、受付窓口と診療後の会計窓口という最初と最後に接する部署とな



ります。そのため、少しでも気持ち良く診療に向かい、お帰りいただけるよう、笑顔を忘れず迅速で正確な対応を心がけ、日々業務にあたっています。これからも、富山市民病院の5つの価値観である①信頼、②良質、③思いやり、④つながり、⑤俊敏を大切にして、より一層満足していただけるよう職員一丸となって業務に取り組んでいきたいと思ひます。

## 医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

5月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	大田 聡	27日	形成外科	稲垣 洸	29日、30日
	浅野	28日、29日、30日	皮膚科	池田	29日、30日
外科	宮下 知	22日、23日	呼吸器・血管外科	湖 東	21日、22日、23日
泌尿器科	高瀬	1日		土岐	15日、16日
整形外科・関節再建外科	岩井	22日		明元	15日
小児科	和田 拓	14日、21日	歯科口腔外科	朽名	19日
耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児島	19日		石坂	12日AM

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

## 編集後記

先日、東京ディズニーリゾートへ娘と旅行に行ってきました。色々行事が重なりなかなか行けず、念願の女子二人旅でした。春休みシーズンということで大変混雑していましたが、キャストの方々は疲れを微塵も見せず明るい笑顔で最高・最善のサービスをしてくださり、夢の国を満喫することができました。私もキャストの方々のように、辛い入院生活を送る患者様に対し、少しでも心地良い時間を提供することができるよう笑顔を大切にしていきたいと思ひます。

リハビリテーション科 荻原 理恵



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

